森林再生50年構想について

本県の森林再生50年構想の現時点での状況をどのように評価しているのか。それを踏まえ、県民に今後30年の森林再生の取組をどのように示していくのか、見解を伺う。

環境農政局長答弁

この構想は、水源環境保全・再生施策大綱や丹沢大山自然再生基本構想など、本県の森林施策全体の方向性やめざす姿を、県民に分かりやすく示したもの。3つの取組の柱のうち、「広葉樹林の再生」「人工林から混交林への転換」「人工林の再生」については、順調に成果をあげている。現在、令和9年度以降の水源環境保全・再生施策について議論を進めているが、今後、他の計画等と整合を図りながら、本県の森林施策全体を分かりやすく示していく。

神奈川県HP
「森林再生50年構想パンフレット」抜粋

要　望

水源環境保全再生施策や丹沢大山の自然再生などによって、構想の示す森林再生の取組の成果は概ね順調とのことだが、里山などの荒廃はさらに進んでいるといった課題もある。森林再生への県民や企業等の関心を高め、協働にもつながる取組とすることを求める。

相模湖、津久井湖における湖岸崩落対策について

相模湖、津久井湖における湖岸崩落対策について、今後どのように取り組んでいくのか、企業庁長に所見を伺う。

企業庁長答弁

平成20年代には30か所を超えていた崩落箇所が、現在は5か所にまで減少している。今後も、相模湖、津久井湖での巡視の頻度を高めることが重要。現在、津久井湖上流域において自動航行のドローンを活用した巡視を試行しているが、湖面利用者の多い場所での飛行については、安全上の課題がある。そこで、湖面利用者の多い相模湖などにおいては、無人自動航行ボートの導入を念頭に、実証実験の実施等について、国など関係機関との調整を進めていく。

要　望

今後は、無人ボートやドローンなどの新しい技術も取り入れながら、効率的な監視を続け、また、県民に現在の湖岸の状況が分かりやすく伝わる取組みを求める。

相模湖の湖岸崩落状況
提供：企業庁

<キリトリ>

POSTCARD

お手数ですが85円切手をお貼りください

2 5 2 - 0 1 4 3

相模原市緑区橋本6-17-3
広木ビル1階-2

小田貴久事務所
行

<キリトリ>

ご意見ご要望	
お名前	フリガナ
ご住所	
連絡先	

お名前・ご連絡先をご記入いただけると幸いです。
※いただいた個人情報は、細心の注意を払って適正厳正に管理します。

小田貴久の県政活動をお届け

- 1982年（昭和57年）4月9日生まれ。
- 相模原協同病院生まれ、西橋本出身。
- 橋本幼稚園（長友学園）、市立橋本小学校、市立旭中学校、県立相模原高校、中央大学法学部卒。
- 大和証券株式会社で資産コンサルタントを経験後、衆議院議員・もとむら賢太郎事務所秘書。
- 2011年4月　相模原市議会議員に当選。以降3期まで連続当選。
- 2023年4月　神奈川県議会議員に初当選。

【趣味】テニス、宝塚歌劇団などの舞台鑑賞
【家族】妻（会社員）、娘、犬（ペキニーズ）

公式HP

公式LINE

小田貴久 政務活動事務所
〒252-0143 相模原市緑区橋本6-17-3 広木ビル1階-2
TEL 042-703-8858　FAX 042-703-8859
E-mail：sagamihara@oda-takahisa.net